

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年 7月26日(金)
- 2 確認箇所
第三セシウム吸着装置(サイトバンカ建屋)
- 3 確認項目
第三セシウム吸着装置運用の状況

4 確認結果の概要

第三セシウム吸着装置(SARRY II)は、処理装置(セシウム吸着装置、第二セシウム吸着装置、除染装置)の信頼性向上及び建屋滞留水浄化の加速を目的として設置され、1～4号機タービン建屋等、高温焼却炉建屋及びプロセス主建屋に貯留している汚染水(以下、「滞留水」という。)に含まれる主要な放射性物質(Cs-134、Cs-137、Sr-90)を除去する装置である。

同装置の運用が7月12日から開始されたことから、現場の状況を確認した。(前回確認：[平成30年8月24日](#))

- ・現場に設置されていた吸着塔等の状況は、写真1のとおりである。
- ・付近の空間線量率は、700～30 μ Sv/h程度であり、滞留水を処理する上流側は高く、下流側に行くにしたがって低くなっていた。



(写真1-1)
左側2塔：ろ過フィルタ
右側4塔：吸着塔



(写真1-2)
ブースターポンプ(カバーの奥に2基設置されている)



(写真1-3)
サンプリングラック

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。